

Asmix

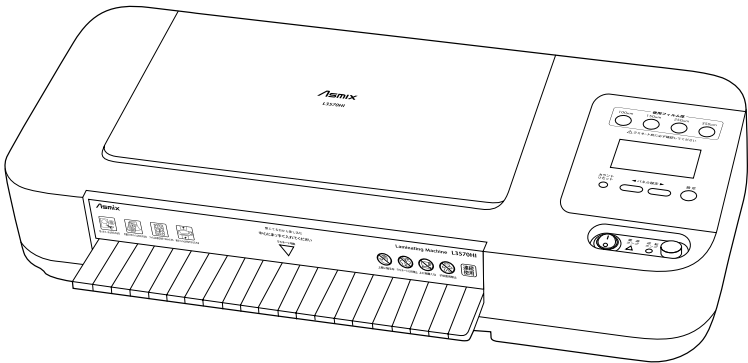
Laminating Machine

6ローラーラミネーター

品番

L3570HI

取扱説明書



お買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

ご使用前に、「安全上のご注意」(1、2ページ)を必ずお読みください。

この取扱説明書は、保証書とともに、いつでも見ることができる場所に保存してください。

ご注意

- この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買い上げの販売店までご連絡ください。
- お客様または第三者がこの製品及び付属品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

仕 様			
ウォームアップ時間	約2分～10分間 (機能設定および周囲の温度によって異なります)	操 作 機 能	電源スイッチ、逆転スイッチ、フィルム厚切替えスイッチ、 カウントリセットボタン、パネル設定ボタン(←、→)、 設定ボタン
最大ラミネート厚	3.0mm(フィルムの厚さ含む)		
ラミネート速度	最大2.0m/分(33.3mm/秒)	コードの長さ	約1.7m
最大ラミネート幅	350mm(A3ノビサイズ対応)	使用電源	AC100V(50/60Hz)
定格使用時間	連続	消費電力	770W(50/60Hz)
設定温度	コールド、約70～180℃	外形寸法	W630×D565×H128mm (組合せ時、突起部含まず)
加熱方式	ローラー内蔵ヒーター		
制 御 機 能	マイコン式温度速度コントロール、フィルム余白オーバーセンサー、 ラミネート厚感知センサー、ローラー回転センサー、原稿位置セン サー、フィルム余白オーバーお知らせゼンザ、スリープモード	質 量	約11.0kg
		付 属 品	取扱説明書、保証書、リフトレー

※この製品は改良のため予告なく変更することがあります。

安全上のご注意

ご使用前に必ずお読みください。

この取扱説明書および製品には、ご使用になる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

⚠ 警告 この表示の欄は「死亡または重傷などを負う恐れがある」内容です。

⚠ 注意 この表示の欄は「けがをしたり財産に損害を受ける恐れがある」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分しています。（図記号の一例です）

 この記号は、してはいけないこと「禁止」内容です。

 この記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告



子供使用禁止

子供の手の届く所で使用しない
けがをする恐れがあります。



水ぬれ禁止

水をかけたりしない
ショート・感電の原因になります。



100V以外禁止

交流100V以外の電圧で
使用しない
感電・火災の原因になります。



分解禁止

絶対に分解したり
修理・改造をしない
けがをする恐れがあります。
※修理は販売店へご相談ください。



禁止

電源コードを傷つけたり加工したり、
ねじったり、引っ張ったり、無理に
曲げたり、重いものを載せたり、
束ねたりしない
ショート・感電・火災の原因になります。



熱に弱い敷物の上、
燃えやすい物の近くで使用しない
火災の原因になります。



プラグを抜く

お手入れの時は、必ずプラグを抜く
感電の原因になります。



禁止

ラミネーターの上に物を置かない
発熱による火災の原因になります。



禁止

電源コードが破損した時は、
ご自身で修理せずにカスタマーサービスセンターにご相談ください。
ショート・感電・火災の原因になります。

安全上のご注意

⚠ 注意



禁止

電源コードを熱器具に近づけない
電源コードが傷つき、ショート・感電・火災の
原因になります。



禁止

タコ足配線をしない
感電・火災の原因になります。



ぬれ手禁止

プラグをぬれた手で抜き差ししない
感電の原因になります。



プラグを抜く

長時間使用しない時は、
プラグを抜く
事故や感電・火災の原因になります。



プラグは根元まで確実に差し込む
感電・火災の原因になります。



禁止

湿気や水気のある所で使用しない
ショート・感電の原因になります。



移動させる時は、プラグを抜く
電源コードが傷つき、ショート・感電・火災の
原因になります。



禁止

不安定な場所に置かない
けがをする恐れがあります。



プラグを抜く時は、電源コードを
引っ張らず、プラグを持って抜く
電源コードが傷つき、ショート・感電・火災の
原因になります。



禁止

屋外では使用しない
ショート・感電の原因になります。



禁止

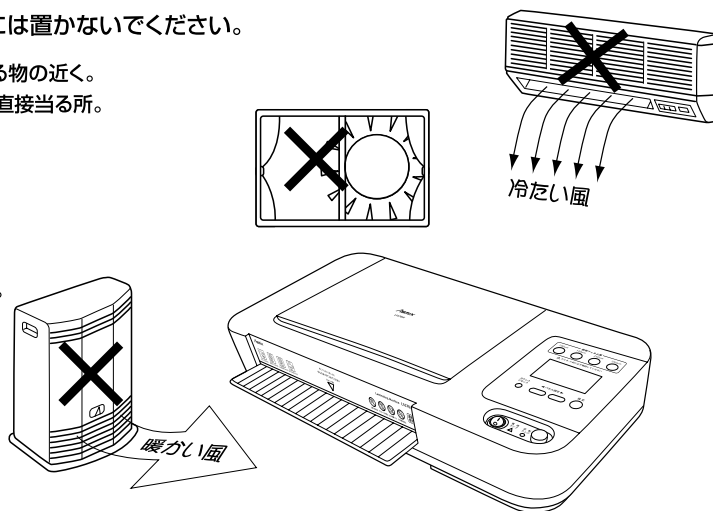
シンナーやベンジンで拭いたり、殺虫剤をかけない
びびわれによるけが、ショート・感電・火災の原因になります。

設置上のお願い

1. 設置場所を決めてください。

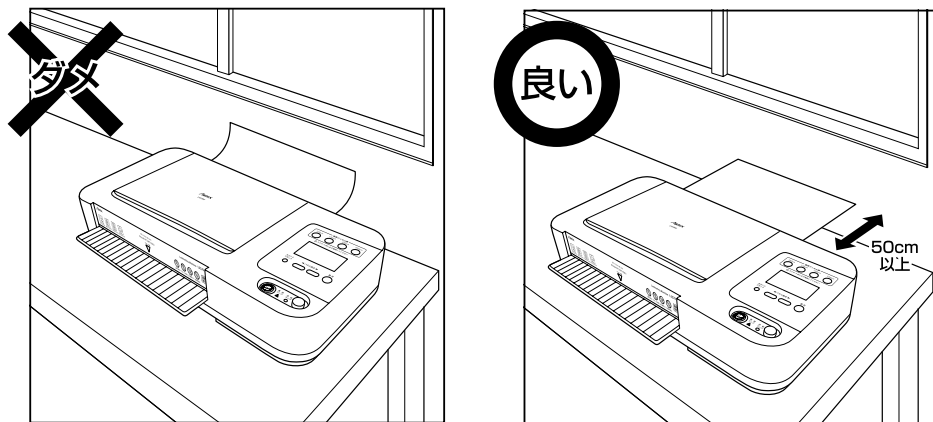
★このような場所には置かないでください。

- ・ストーブなど発熱する物の近く。
- ・クーラーなど冷気の直接当る所。
- ・直射日光の当る所。
- ・風通しの悪い所。
- ・傾いている所。
- ・不安定な場所。
- ・熱に弱い物の近く。
- ・燃えやすい物の近く。
- ・ほこりの多い場所。

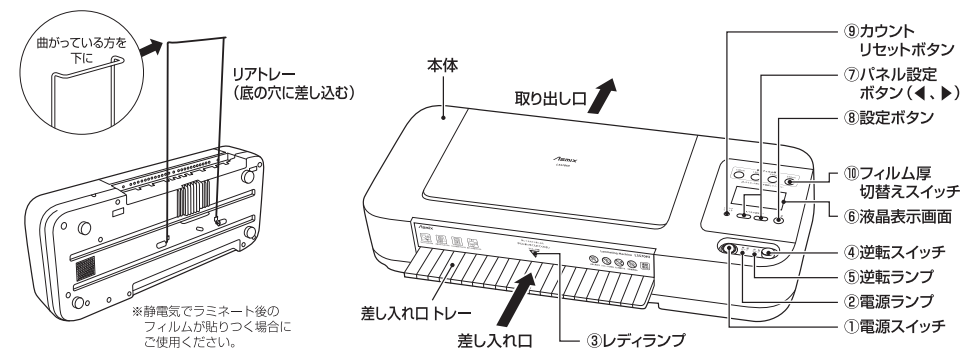


2. ラミネーターの後ろを十分あけてください。

- ・フィルムが出てきた時に壁などにつかえないように。

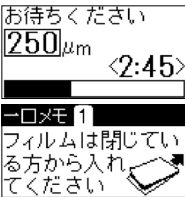
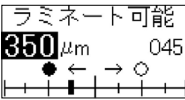
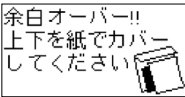
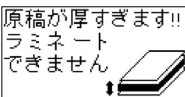
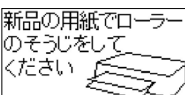
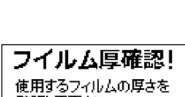
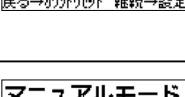
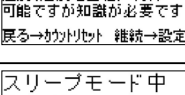


各部の名称・スイッチ部の名称と働き



スイッチ部	名称と働き
	①電源スイッチ ・O N…スイッチの上(側)を押すと、ランプが赤色に点灯して電源が入ります。 ・OFF…スイッチの下(○側)を押すと、ランプが消え電源が切れます。 ②電源ランプ ・「電源スイッチ」を「ON」にすると「赤色」のランプが点灯し機械に電気が通じていることを表示します。
	③レディランプ (緑色) ・「電源スイッチ」を「ON」にしてから約2～10分後に「緑色」のランプが点灯し、ラミネートできる状態を表示します。 ・ラミネート中やウォームアップ中、設定中などのフィルムを差し入れ出来ない状態の場合には消灯します。
	④逆転スイッチ ・ラミネートを途中で止める場合、「逆転スイッチ」を押しながらフィルムを取り出します。 ⑤逆転ランプ (オレンジ色) ・「逆転スイッチ」を押すと「オレンジ色」のランプが点灯し逆転していることを表示します。
	⑥表示画面 (液晶表示) → 詳しくは「機能メニュー」の説明をご覧ください。 ・動作の状態や案内表示、設定の表示などを行います。 ⑦パネル設定ボタン (◀、▶) ・表示画面に表示されている設定変更などに使用します。 (「マニュアルモード」時や動作設定時に使用します。) ⑧設定ボタン ・表示画面の操作を決定する場合に使用します。 ⑨カウントリセットボタン ・ボタンを押すと表示画面のカウントが「0」になり、ラミネート枚数を数えたい場合に使用します。 ・確認画面を解除する場合にも使用します。(確認画面中に、ボタンを押してもカウントは「0」になりません。マニュアルモード中にボタンを押すと「0」になります。)
	⑩フィルム厚切替えスイッチ ・100～250μmフィルムを使用する時は、フィルムの厚さに合わせてこのボタンを押します。 (通常は100μmが自動選択されます。) ・350μmフィルムを使用する時は、最後に「設定ボタン」を押します。

機能メニューの説明

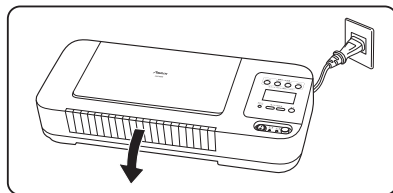
表示画面	機能説明
 自己診断中	電源ON時 ・スイッチを「ON」にすると、この画面が表示され、自己診断を自動的に行います。
	ウォームアップ時 ・ラミネートできるまでの「ウォームアップ残り時間」とラミネートの注意事項「一口メモ」を交互に表示します。
	待機時 ・ウォームアップが完了しラミネートできる状態です。 ・表示画面左側にフィルム厚、右側にラミネートした枚数を表示しています。 ・使用するフィルム厚と「フィルム厚切替えスイッチ」が合っているか確認してラミネートしてください。
	フィルム余白オーバーの時 ・「差し入れ口」に入れたフィルムと原稿に5mm以上の余白（スキマ）がある場合、表示し「ブザー」が鳴ります。 ・フィルムを手前に引き出すと表示と「ブザー」が消えます。 ・新品のコピー用紙でフィルムの上下をカバーしてラミネートしてください。
	総厚超過 ・差し入れたフィルムと原稿の総厚が厚い場合やフィルムがよじれて入ってしまった場合、表示し「ブザー」が鳴ります。 ・フィルムを手前に引き出すか、「逆転スイッチ」を押してフィルムを取り除くと表示と「ブザー」が消えます。
	ローラークリーニングお知らせ ・累計100枚以上ラミネートを行った後、電源スイッチを「ON」にすると自動的に表示します。 ・ウォームアップ完了後に、ローラーのそうじをしてください。（「カウントリセットボタン」と連動していません。）
	フィルム厚確認 ・使用するフィルムのパッケージに表示されている厚さを「フィルム厚切替えスイッチ」で選択してください。 お願い 350μmフィルムを使用する場合は、特に下記の設定をしてください。 「フィルム厚切替えスイッチ」の350μmは非常に高温に設定されています、そのため100μmなどの薄いフィルムを万一間違って差し入れた場合、フィルムが巻き込まれたり詰まったりして、故障の原因になります。 350μmフィルムでラミネートする場合には、「フィルム厚切替えスイッチ」の350μmを押した後、「設定ボタン」を押してください。ラミネートを止める場合は、「カウントリセットボタン」を押してください。
	マニュアルモード ・「マニュアルモード」で温度と速度を自由に設定し微妙な仕上がりの調整ができます。 ・「マニュアルモード」を使用する場合は、ウォームアップ時または待機時に「設定ボタン」を押してください。（設定の目安を参照） ・解除する場合は、「カウントリセットボタン」を押してください。
	スリープモード ・30分間（動作設定画面にて変更可能）ラミネートしない場合、節電のためにヒーターやモーターなどを自動的に休止し省エネ状態になります。 ・再び使用するには、「設定ボタン」を押してください。（ウォームアップ完了後、ラミネートできます。）

使用される場合に、次の注意をお守りください。

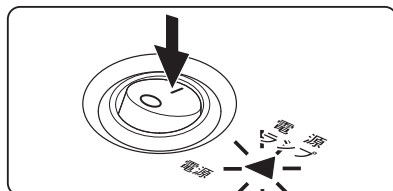
- ラミネートフィルムは、「アスマックス」の専用フィルムをご使用ください。
他社製品をご使用になりますと、故障の原因になります。
- ラミネートできる厚さは3.0mm（フィルムの厚さ含む）までです。
ただしフィルムの端がつくのは、おおむね1.0mmまでとなります。
- フィルムの余白は2～5mmにしてください。
5mm以上余白があるとローラーに巻き付き、機械の中に詰まります。
- フィルムを片面だけ使ってラミネートしないでください。
ローラーに巻き付き、機械の中に詰まります。
- フィルムに何も入れないでラミネートしないでください。
ローラーに巻き付き、機械の中に詰まります。
- 何枚かラミネートする時は、レディランプが点灯してから次のフィルムを入れてください。
間隔をあげないと、温度が下がりラミネートがきれいにできません。
- ラミネート以外の目的で使わないでください。
故障の原因になります。
- はがしたり、やり直したりできません。
十分注意してください。
- 絶対にラミネートしてはいけない物。
 - ・フィルムの余白が5mm以上あるもの、何ものはさまないフィルムのみ
 - ・片面だけのフィルムを使ったもの
 - ・最大ラミネート厚（フィルムの厚さ含む）以上のもの
 - ・金属、布、木、ガラス
 - ・熱で溶けるもの……………ビニール、プラスチック製カードなど
 - ・熱で変色・変質するもの……感熱紙、クレヨン画、和紙など
- 湿った紙、折れたままの紙、反ったままの紙はラミネートしないでください。
気泡ができたり、仕上がりが不良になったり、機械のなかに詰まったりします。

ラミネートの仕方

- ① プラグをコンセントに差し込み、「差し入れ口トレー」を開いてください。

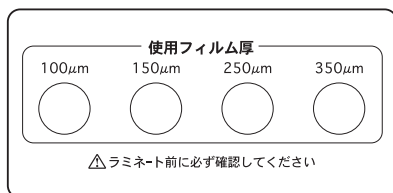


- ② 「電源スイッチ」を「ON」にすると、「赤色」のランプが点灯し運転が始まります。



- ③ 「フィルム厚切替えスイッチ」を押す。
使用するフィルムの厚さを確認してからスイッチを押してください。

「Asmix ラミネーター専用フィルム 粘着つき(フィルム厚80μm)」は、「フィルム厚切替えスイッチ」**100μm**を押してください。



- ④ 「レディランプ」が「緑色」に点灯するまで待ちます。

・スイッチを「ON」にしてから約4分後(100μmフィルム時)に「緑色」に点灯します。(設定内容及び、周囲の温度によって異なります。)

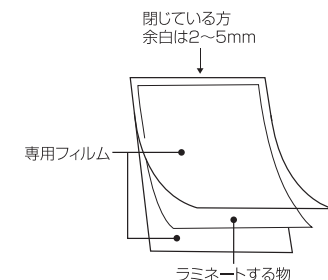
ウォームアップが不十分だと、きれいにラミネートできません。



- ⑤ 専用フィルムに用紙をはさみます。
1.閉じている方に突き当ててはさんでください。
2.フィルムの余白を2～5mm残してはさみます。

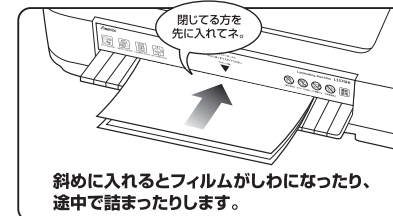
フィルムの余白を必ず2～5mmにする。
閉じている方も余白を必ず2～5mmにする。

厚紙や黒っぽい用紙をラミネートする場合には熱不足になることがあります。連続してラミネートする時は間隔を約10～20秒あけて使用してください。



ラミネートの仕方

- ⑥ フィルムの閉じている方から、真っすぐにゆっくり「差し入れ口」の中央に入れます。自動的に入り始めたら手を離します。



●フィルム余白オーバーセンサーについて

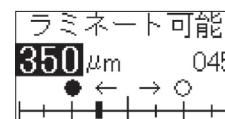
本製品には、フィルムの内部詰まりを防ぐためにフィルム余白オーバー機能があります。(フィルムの余白部分が大きいと、内部で詰まる恐れがあります。)
差し入れ口に入れた時、フィルムと原稿に5mm以上の余白がある場合、「フィルム余白オーバーセンサー」が鳴ります。フィルム余白オーバー機能が作動した場合には、フィルムと原稿を取り出して上下に紙を当ててからラミネートしてください。
なお、この機能は「差し入れ口中央部分」で感知していますので、必ず中央にフィルムを入れてください。

●フィルム厚感知センサーについて

差し入れ口中央部分にフィルムと原稿の総厚を感知して、自動的にラミネートの仕上がり調整する「フィルム厚感知センサー」が搭載されています。

●仕上がり調整について

加熱時間を変えることにより、仕上がりの微調整が可能です。
調整量は、表示画面、下側のグラフに表示されます。



1.横波が出たり、波打ちする場合

「パネル設定ボタン」(▶側)を押して**加熱時間を短く**調整してください。

2.白っぽい、縦すじが出る場合

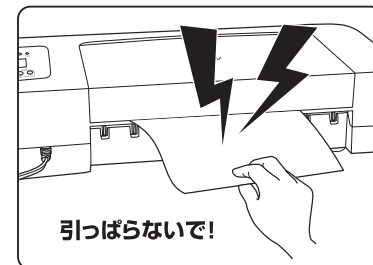
「パネル設定ボタン」(◀側)を押して**加熱時間を長く**調整してください。

【マニュアルモード】設定時は、機能しません。

- ⑦ 「取り出し口」からラミネートされたものが出てきます。

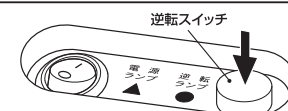
自動的に出てきますので、無理に引っ張り出さないでください。

次のフィルムをラミネートする場合には、レディランプが「緑色」に点灯してからフィルムを入れてください。

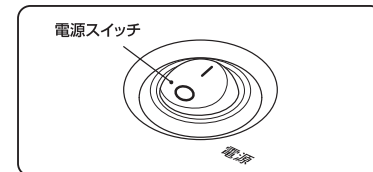


フィルムが斜めに入ったり、途中で止める時

逆転スイッチを押しつつ、フィルムを取り出してください。
無理に引っばらないでください。

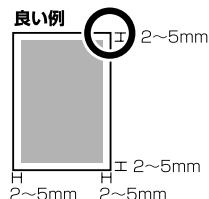


- ⑧ 使い終わったら必ず「電源スイッチ」を「OFF」にしてください。

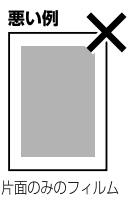
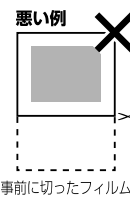
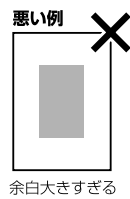


ラミネートの仕方

正しいはさみ方



悪い例はフィルム詰りの原因になります。



余白大きすぎる

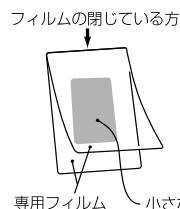
事前に切ったフィルム

片面のみのフィルム

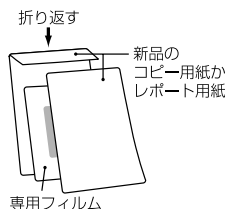
新品のコピー用紙がレポート用紙で上下をカバーしてラミネーターに通さないと、ローラーに巻き付く場合があります。

フィルムの余白が5mm以上あく場合はさみ方

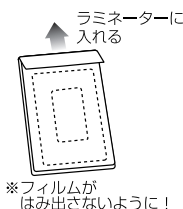
①フィルムにはさむ。



②新品のコピー用紙がレポート用紙などの用紙で上下をカバーする。



③必ずフィルムの閉じている方から入れる。



※フィルムがはみ出さないように！

ラミネートできるのは 総厚3.0mm (フィルムの厚さを含む) までです。

専用フィルム厚	フィルム1組の厚さ+用紙の厚さ=総厚
100μm (0.1mm)	0.2mm+2.8mmまで=3.0mm
150μm (0.15mm)	0.3mm+2.7mmまで=3.0mm
250μm (0.25mm)	0.5mm+2.5mmまで=3.0mm
350μm (0.35mm)	0.7mm+2.3mmまで=3.0mm

※必ず「Asmixラミネーター専用フィルム」をご使用ください。

主な紙の厚さの目安

紙の種類	厚さの目安
コピー用紙 (64g/m ²)	約0.09mm
プリンター専用紙 (普通紙)	約0.1mm
プリンター専用紙 (マット紙)	約0.125mm
プリンター専用紙 (中厚口)	約0.18mm
プリンター専用紙 (厚口)	約0.23mm
プリンター専用紙 (特厚口/写真用印画紙)	約0.26mm
ボール紙 (450g/m ²)	約0.6mm
ポスター (157g/m ²)	約0.17mm
カタログ	約0.1~0.22mm
官製はがき	約0.2mm
ポストカード	約0.24~0.37mm
新聞紙	約0.07mm
雑誌表紙	約0.09~0.2mm
雑誌本文	約0.04~0.07mm
名刺	約0.2~0.25mm
診察券・和紙	約0.25~0.4mm

Asmixラミネーター専用フィルムサイズと 適正用紙サイズ一覧表

製品名	フィルムサイズ (mm)	適正用紙サイズ (mm)	余白
IDカードサイズ用	W57×H82mm	W51×H76mm	3mm
一般カードサイズ用	W60×H90mm	W54×H84mm	3mm
名刺サイズ用	W60×H95mm	W54×H89mm	3mm
定期券サイズ用	W65×H95mm	W59×H89mm	3mm
カードサイズ用	W68×H99mm	W62×H93mm	3mm
診察券サイズ用	W70×H100mm	W63×H94mm	3mm
写真サービス判用 (L判用)	W95×H135mm	W89×H129mm	3mm
手札プロマイドサイズ用	W100×H146mm	W94×H140mm	3mm
写真パノラマ判用	W95×H262mm	W89×H256mm	3mm
はがきサイズ用	W109×H154mm	W103×H148mm	3mm
B6サイズ用	W138×H192mm	W128×H182mm	3mm
A5サイズ用	W158×H220mm	W148×H210mm	3mm
B5サイズ用	W192×H267mm	W182×H257mm	3mm
A4サイズ用	W220×H307mm	W210×H297mm	5mm
A4ヨコサイズ用	W307×H220mm	W297×H210mm	5mm
B4サイズ用	W267×H374mm	W257×H364mm	5mm
A3サイズ用	W307×H430mm	W297×H420mm	5mm
A3ノビサイズ用	W339×H493mm	W329×H483mm	5mm
B3サイズ用	W374×H525mm	W364×H515mm	5mm
A2サイズ用	W430×H604mm	W420×H594mm	5mm

※適正用紙サイズに合ったラミネーター専用フィルムをお選びください。

Asmixラミネーター専用フィルムの種類

100μm・150μm・250μm・350μm・UVタイプ (100μm)・
マットタイプ (100μm)・粘着タイプ (80μm)

※製品のお取り寄せは、最寄の販売店及び通販会社にお尋ねください。

マニュアルモード設定の仕方

本機は、温度と速度を自由に設定し高品位に仕上げる
[マニュアルモード]を搭載しています。

マニュアルモード

温度、速度を自在に制御
可能ですが知識が必要です
戻る→メニューリセット 継続→設定

温度設定

[C] (コールド:ヒーター非加熱、常温状態)または[80~180℃]の設定が出来ます。

手順

- ①ウォームアップ時または待機時に「設定ボタン」を押す
- ②[マニュアルモード]画面が表示される。
- ③「設定ボタン」を押すと温度設定画面が表示される。
- ④「パネル設定ボタン」(◀、▶)で温度を選択する。
- ⑤「設定ボタン」を押して確定する。

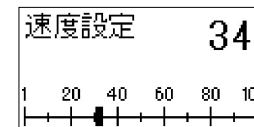


速度設定

微速から高速 (速度1~100) までの設定が出来ます。

手順

- ①ウォームアップ時または待機時に「設定ボタン」を押す。
- ②[マニュアルモード]画面が表示される。
- ③「設定ボタン」を押すと速度設定画面が表示される。
- ④「パネル設定ボタン」(◀、▶)で速度を選択する。
- ⑤「設定ボタン」を押して確定する。



設定の目安

大まかな設定の目安は次の通りです。

フィルム厚	原稿	温度設定の適正範囲	速度設定の適正範囲
100μm	コピー用紙	120~125℃	60~65
	0.4mm厚紙		20~25
150μm	コピー用紙	130~135℃	50~55
	0.4mm厚紙		15~20
250μm	コピー用紙	150~155℃	40~45
	0.4mm厚紙		10~15
350μm	コピー用紙	170~175℃	20~25
	0.4mm厚紙		1~5

原稿の状態 (原稿の厚さや色の濃淡など) により異なります。

お願い

- フィルム厚と温度や速度の設定は適正範囲内で微調整を行ってください。
適正範囲を超えるとフィルムの巻込みや故障の原因になります。
- 使用するフィルム厚を絶対にお守りください。
[マニュアルモード]を選択すると「フィルム厚感知センサー」は働きません。設定と異なるフィルム厚をラミネートした場合、フィルムの巻込みや故障の原因になります。

各種機能設定の仕方

ご使用の状況に合わせ、以下の機能設定が可能です。

ご購入時は【スリープモード：[30]・余白感知：[する]・一口メモ：[する]・表示テスト：[しない]】に設定されています。

スリープモード

ラミネートしない場合、節電のためにヒーターやモーターなどを自動的に休止し省エネ状態にする時間を【30】（30分）・【15】（15分）・【なし】（なし）から選べます。

手順

- ①「電源スイッチ」と同時に「設定ボタン」を5秒間押し続ける。
- ② 動作設定画面が表示される。
- ③「設定ボタン」でスリープモードを選ぶ。
- ④「パネル設定ボタン」（◀、▶）で【30】・【15】・【なし】を選ぶ。
- ⑤「設定ボタン」を押して確定する。

フィルム余白オーバーセンサー

【フィルム余白オーバー】の検知を【する】または【しない】から選べます。

手順

- ①「電源スイッチ」と同時に「設定ボタン」を5秒間押し続ける。
- ② 動作設定画面が表示される。
- ③「設定ボタン」で【余白感知】を選ぶ。
- ④「パネル設定ボタン」（◀、▶）で【する】・【しない】を選ぶ。
- ⑤「設定ボタン」を押して確定する。

一口メモ

ウォームアップ中の【一口メモ】の表示を【する】または【しない】から選べます。

手順

- ①「電源スイッチ」と同時に「設定ボタン」を5秒間押し続ける。
- ② 動作設定画面が表示される。
- ③「設定ボタン」で案内表示を選ぶ。
- ④「パネル設定ボタン」（◀、▶）で【する】・【しない】を選ぶ。
- ⑤「設定ボタン」を押して確定する。

表示テスト

表示画面のテスト用の機能です。通常は使用しませんので、【しない】のままにしてください。

手順

- ①「電源スイッチ」と同時に「設定ボタン」を5秒間押し続ける。
- ② 動作設定画面が表示される。
- ③「設定ボタン」で【表示テスト】を選ぶ。
- ④「パネル設定ボタン」（◀、▶）で【する】・【しない】を選ぶ。
- ⑤「設定ボタン」を押して確定する。

故障かな？と思われた時

こんな時は	処 置
スイッチを「ON」にしても動かない。	●プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。
フィルムが入っていかない。	●レディランプが「緑色」になっていますか？ ウォームアップ中はラミネートできません。
フィルムが横に波打つ。 変形してラミネートされる。	●「フィルム厚切替えスイッチ」とラミネートしたフィルムは厚さが合っていますか？ ご使用のフィルムに合った、「フィルム厚切替えスイッチ」を押してください。 ●「パネル設定ボタン」（▶側）を押して、 加熱時間を短く するように、仕上がり微調整を行ってください。
フィルムが縦に波打つ。 十分にラミネートされない。 白っぽい。	●「フィルム厚切替えスイッチ」とラミネートしたフィルムは厚さが合っていますか？ ご使用のフィルムに合った、「フィルム厚切替えスイッチ」を押してください。 ●「パネル設定ボタン」（◀側）を押して、 加熱時間を長く するように、仕上がり微調整を行ってください。
レディランプが「緑色」になったので、 フィルムを入れたが正常にラミネートしない。	●太陽光が本機に直接当たっていませんか？ 内部に光センサーを使用しているため、太陽光で誤動作する場合があります。太陽光が当たらない位置に移動してください。
フィルムや用紙がしわになる。	●用紙に反り、しわ、ゆがみはありませんか？ 平らな用紙をお使いください。 ●用紙が濡れていませんか？ プリンターのインクやのりは十分に乾いてからラミネートしてください。
液晶画面が正しく表示されない。	●電源「ON」と同時に「カウントリセットボタン」を5秒間同時に押してください。内部のマイコンがリセットされます。
臭いがする。 けむりが出る。	●お買い上げ当初に、においやわずかな油けむりが出る場合があります。 余分な潤滑油が揮発するため問題ありません。 その時は換気をし、しばらく空転させてからご使用ください。 ●においが強かったりけむりが多く出る場合には、「電源スイッチ」を切りカスタマーサービスセンターまでご連絡ください。
【異常発生】という画面が出る。	●「電源スイッチ」を一旦切り、再度電源を入れてください。 状況が改善されない場合には、画面内容を控えて、カスタマーサービスセンターにご相談ください。

以上のチェックを行っても直らない場合は、まずお求めの販売店へ下記の事項をできるだけ詳しくご連絡ください。

① 故障状況 ② 品番「L3570HI」 ③ ご購入年月日（保証書に記入されています。）

お手入れの仕方

ローラーのそうじ

累計100枚以上ラミネートを行い、電源スイッチを「ON」にすると[クリーニング画面]が表示がされます。

- その時は、ウォームアップ完了後、「フィルム厚切替えスイッチ」を100 μ mにし、新品のコピー用紙を2つ折りにして10回位空通ししてください。

※「カウントリセットボタン」を押しても、ラミネート枚数の累計はリセットされません。

コピー済みの用紙はトナーが熱で溶け故障の原因になりますので使用しないでください。



本体のそうじ

- 柔らかい布でカラ拭きしてください。
- 汚れがひどい時は中性洗剤を入れた水を布に少しつけて拭き、その後乾いた布で拭きとってください。

本体のそうじの時は、コンセントからプラグを抜いてください。

お願い

- シンナー、ベンジン、ガソリン、クレンザーなどは絶対に使用しないでください。
- 分解したり修理、改造は絶対にしないでください。

一口知識

1. カラーコピー、プリンターのインキは変色しませんか？

大丈夫です。

2. 写真は変色しませんか？

DPEすべて**大丈夫**です。

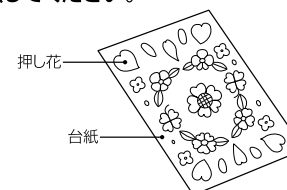
ただし、フィルムの貼ってあるインスタント写真は熱に弱いためできません。

3. 押し花をラミネートできますか？

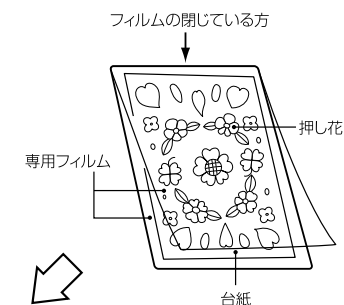
総厚3.0mm (フィルムの厚さ含む) までならできます。

押し花をラミネートする方法

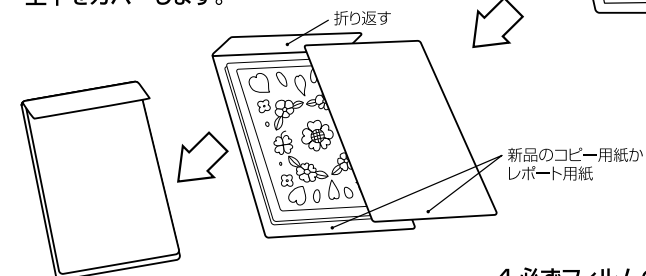
1. あらかじめ乾燥した「押し花」と台紙を用意してください。



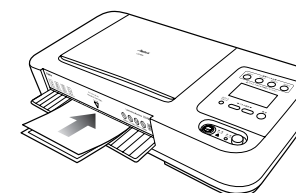
2. フィルムにはさみます。



3. 新品のコピー用紙かレポート用紙で上下をカバーします。



4. 必ずフィルムの閉じている方から入れます。



- ラミネーターは生花を「押し花」にする機械ではありません。
- 新品のコピー用紙かレポート用紙でカバーしてラミネーターに通さないと、ローラーに巻き付く場合があります。
- 茎など厚みのある部分は、しわになることがあります。

保証とアフターサービス よくお読みください

修理やご不明な点などのご相談は、**まず、お買い上げの販売店へ**お申し付けください。

■ 保証書（別添）

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
内容をよくお読みのうえ、大切に保存してください。

■ 保証期間

お買い上げの日から1年間です。

保証期間中でも、有料になることがありますので保証書をよくお読みください。

※本機を分解されますと、保証が無効になります。

■ 修理を依頼される時は

P.12の「故障かな?と思われる時」をご確認ください。それでも異常がある時は、ご使用をやめてお買い上げの販売店に保証書を添えてこの製品を**【お持込】**のうえ、修理をお申し付けください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って修理させていただきます。

●保証期間を過ぎている時は

修理によりご使用できる場合には、ご要望により有料で修理させていただきます。

●修理料金の仕組み

修理料金は、基本料・技術料・部品代等で構成されています。

基本料:診断・点検等の費用です。

技術料:故障した製品を正常にするための修理・調整等の作業にかかる費用です。

部品代:修理に使用した部品代金です。

■ 出張修理は行っておりません。

点検や修理の発送のために外箱・緩衝材（発泡スチロール等）を保存しておいてください。

■ お問い合わせは

この製品についてのご意見・ご質問はカスタマーサービスセンターへお申し付けください。

お願い 修理を依頼される時は、付属品も一緒にお持込ください。

■ 便利メモ お買い上げ日・販売店名を記入されると便利です。

お買い上げ日	販売店名
年 月 日	電話() -

愛情点検	長年ご使用のラミネーターの点検を！ 〔ご使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、 時には安全性を損なって事故につながることもあります。〕	
	このような 症状は ありませんか	●電源を入れても可動しなかったり、ラミネートが途中で止まったりする。 ●電源コードに傷があったり、電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。 ●異常な発熱、異音、異臭がする。 故障や事故防止のために、電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。

株式会社**アスカ**

カスタマーサービスセンター

TEL03-5690-9412

受付時間:月曜日～金曜日

(祝祭日・年末年始・夏季休暇期間を除く)

AM10:00～12:00 / PM1:00～5:00

2008年9月 第1版